

耳鼻科クリニックへの言語聴覚士募集の概要

クリニック名称：かとう耳鼻咽喉・嚥下クリニック

院長：加藤健吾

- ・現職：東北大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科講師
- ・主な資格：医学博士、耳鼻咽喉科専門医、頭頸部がん専門医、がん治療認定医、補聴器相談医、摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- ・役職など：日本嚥下医学会評議員、日本摂食嚥下リハビリテーション学会 嚥下機能評価実習研修会 研修会委員、東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事、日本耳鼻咽喉科学会 宮城県地方部会 嚥下診療委員会 委員長

住所：〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町 11-12-1F

(青葉神社通り沿い、ビルの1階。北四番町駅から徒歩4分弱)

クリニック外観予定図（現在改装工事中）：



開業時期：2020年5月中旬（5/11を予定）

対象疾患：

- ・耳鼻咽喉科疾患一般
- ・嚥下障害

営業時間（予定）：

月/火/木/金 9：00～13：00、14：30～18：00

水/土 9：00～13：00

※日曜祝日、年末年始、お盆休みは休診の予定です。

主な設備：

- ・喉頭電子スコープ（往診対応）
- ・嚥下造影用透視室、透視器械、VFチェア、録画録音装置
- ・専有言語聴覚士室（11平米）

※二階にはスタッフルーム（談話室と和室休憩室）があります。

クリニックの理念：

- ・全国でも稀な（少なくとも東北では唯一の）嚥下障害に対する専門的な診療を提供できるクリニック（必要に応じて連携病院での手術や訪問診療も行う）
- ・全国に情報発信ができるクリニック（学会等への情報発信を積極的に行う）
- ・加齢性難聴に対する補聴器のフィッティングや頭頸部癌照射後嚥下障害に対する対応など、治療困難なみみ・はな・のどの機能障害に対しても、ケアできる、相談できるクリニック
- ・一般耳鼻科診療でも、現代的で、理にかなった治療を提供できるクリニック
- ・ネット予約やホームページによる情報提供など、便利で親切なクリニック
- ・仕事を通じてスタッフが自分自身を高めることができるクリニック（研修参加、研究会発表のサポートなど）
- ・楽しく働いて、仕事を通じてスタッフとその家族が幸せになれるクリニックを目指しています。

募集人員（予定）：

医療事務 2 名、看護師 2 名、言語聴覚士 1 名

雇用時期：

2020 年 4 月より（開業まではトレーニング）

※雇用開始時期については相談に応じます

勤務時間（予定）：

月火木金 8：40：13：20、14：30～18：30

水土 8：40～13：20

※開業後。トレーニング期間は別途定める

※午前のみなど、短縮勤務時間についても応相談

給与（言語聴覚士）：

基本給 21～25 万円+手当～2 万円（フルタイム勤務の場合）

※クリニック業績により昇給あり

通勤手当：実費（公共交通機関の定期代として、最大月 2 万円）

賞与：年 2 ヶ月程度を予定（業績による）

保険等：医師国民健康保険、厚生年金、雇用保険

有給休暇：年 10 日間（勤務継続により延長あり）

言語聴覚士の主な業務内容

- ・外来での言語聴覚リハビリテーション（主として嚥下障害、その他難聴に対する補聴器フィッティングなど）
- ・VE や VF などの補助
- ・（体制が整い次第徐々に）訪問リハビリテーション（嚥下障害）
- ・聴力検査
- ・診察介助、窓口業務の補助

など

嚥下障害診療その他、言語聴覚士の先生が関与する診療について

- ・嚥下障害に対しては、「嚥下障害があるけれど、誰に相談すればいいかわからない」方に対して、「嚥下障害に関わるよろずの相談に乗る」事を目指しています。具体的には、
 - 1) 原因がはっきりしない嚥下困難の診断を行い、関連医療機関へ繋ぐ
 - 2) 誤嚥性肺炎を生じる前、比較的軽症の方の嚥下障害の方について、諸々の相談に乗るコンサルテーションと肺炎発症予防指導
 - 3) 軽症の方に対する嚥下検診
 - 4) 在宅や施設入所中の方などのワンポイントの VE/VF 診断と報告書作成
 - 5) 連携病院（公済病院など）での誤嚥防止手術などの実施
 等を中心に考えています
- ・当初は車椅子程度で来院できる軽症～中等症の嚥下障害の方を中心に診療する予定です。パーキンソン病など神経筋疾患、頭頸部癌や食道癌の治療後サバイバー、高齢者嚥下機能低下例（まだ肺炎を発症していない）、誤嚥性肺炎初入院退院後などの方を想定しています。クリニックでは1～3ヶ月毎の診察（VE/VFを含む）と、月1～4回程度の摂食機能療法を行い、そこで食事形態、摂食方法の指導と在宅で出来るリハビリの指導をお願いしたいと思っています。
- ・診療が軌道に乗ってきたら、在宅の患者さんに対して院長が1～3ヶ月毎に訪問診療を行い、STの先生には介護保険で訪問リハビリを実施してもらいたいと思っています（みなし訪問リハビリテーション事業所として申請）。
- ・その他、聴力検査と補聴器フィッティングを行ってもらいたいと思っています（聴力検査は最終的には看護師に実施してもらう予定です）。
- ・嚥下障害、補聴器フィッティング共に経験があまり無い先生でも、熱意さえあれば一緒に学んでいきたいと思っています。
- ・高次機能障害の診療を希望される先生に関しては、クリニックの軒先を貸す形で失語症のリハビリなどを行って頂いても良いと思っています。
- ・現在院長は大学病院勤務ですが、開業後も学会発表などは継続して行いたいと思っています（2020年度も日本摂食嚥下看護研究会の教育講演、摂食嚥下リハビリテーション学会のパネリストなどの予定があります）。一緒に働く言語聴覚士の先生についても（希望があれば）一緒に発表を行い、仙台から情報発信を続けていきたいと思っています。